

今後の総合政策特別委員会の進め方について

平成 31 年 3 月

1. 検討の進め方

- 総合政策特別委員会は、第9期においてとりまとめた「論点とりまとめ」を基に、今後、第6期科学技術基本計画（以下「次期基本計画」という。）に向けた文部科学省における検討のとりまとめを行う。
- 総合政策特別委員会における検討のスケジュールに関しては、6月下旬に骨子案を提示し、8月中旬を目途に中間とりまとめを作成、最終とりまとめを平成32年3月に取りまとめることとする。
- 科学技術・学術審議会の関連部会・分科会等においては、特に「研究力向上に向けたシステム改革」について、これだけは次期基本計画に盛り込むべきという重要な点を、6月上旬までに総合政策特別委員会に提示する。
- 研究計画・評価分科会直下の関係委員会・部会等においては、個別分野に関する次期基本計画に向けた検討結果を、10月中に総合政策特別委員会に提示する。

2. スケジュール

第1回（4月中旬）

- 会議運営、論点とりまとめ、今後のスケジュールの説明
- 骨子案作成に向けた議論

第2回（5月中旬）

- ヒアリング
- 骨子案作成に向けた議論

（～6月上旬 「研究力向上に向けたシステム改革」について関係部会等において検討）

第3回（6月下旬）

- 骨子案のとりまとめ

第4回（7月中旬）

- ヒアリング
- 中間とりまとめに向けた議論

第5回（8月下旬）

- 中間とりまとめ

第6回（9月以降）

- 最終とりまとめに向け議論

（～10月 個別分野について関係部会等において検討）

～平成32年3月

- 最終とりまとめ